

# かけはし

2015  
Vol.71  
November

七夕ホームステイ、名古屋大学夏季セミナーホームステイの対面式が木曾川庁舎と墨会館で行われました。ホストファミリーボランティアの皆さんが名古屋大学、岐阜大学の留学生たちと国際交流を体験されています。あなたもボランティア登録してみませんか？ (akeharu)



# イタリア国際交流員交代のお知らせ

(取材：佐野)

## ようこそ ダラ プリア・マッシモさん

8月から新しく一宮市国際交流員として着任。子どものころよく見た日本のアニメや日本製の優れた家電製品などに影響を受けましたが、日本に行くことなど意識していませんでした。しかし、2003年に初めて日本旅行した時に日本の文化の違いに驚き、ものすごく気に入りました。その上、まったく読めない漢字の美しさに魅了されて日本語の勉強を独自に始めました。2005年からは千葉県日本語学校で18カ月学び、勉強のかたわら日本全国を旅して、その豊かな自然に感動しました。帰国後ヴェネツィア大学で日本語と中国語を専攻し、在学中に日本でイタリアのテレビ局のインターンシップを3カ月経験して2012年に卒業しました。

### ダラ プリア・マッシモ

イタリア北部のパドヴァ出身、36歳171cm。  
両親と妹の4人家族。趣味はサッカー、ロック音楽、語学。温泉、カクテル、カレーが好き。

日本で時間を過ごせば過ごすほどもっと日本が好きになりました。同時に自分の国との習慣の違いを発見したおかげで、イタリア文化のしきたりの独創性を知りその大切さを実感することになりました。そして、静かな中にも利便性がある一宮市にやって来ました。

これから国際交流員として相互の国際理解に力を入れたいと思います。小学校訪問では子どもたちにイタリアの素敵な特徴を紹介し、セミナーでは一宮市民に観光地と食文化などの話をしたいと思っています。そして一宮市の友好都市トレビーズ市との交流を進めたいと思います。

私は見た目より性格が明るいので、見かけたら遠慮なく声をかけて下さい！



## ありがとう ブライダ・ヴァレンティーナさん

一宮市での国際交流員としての3年間、市民の方々とは地域のまつり、イタリア紹介のセミナーを通してあたたかく優しく交流できたことを喜んでいきます。小中学校の先生・子どもたちに世界に興味を持ってもらい、頼もしく感じました。もっともって外国に目を向けてもらえればうれしいです。そして身近な存在である、国際交流協会とボランティアのみなさんには、活動のサポートでお世話になり感謝いたします。

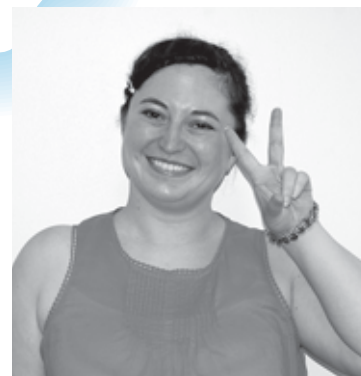
この3年間で一番の思い出は、トレビーズ市との友好都市協定調印式に立ち会い、めったにできない貴重な経験をしたことです。その後もイタリアフェア、トレビーズフェアなどでイタリアの文

### ブライダ・ヴァレンティーナ

在任期間2012年10月～2015年8月、イタリア・ミラノ出身。トレビーズ市との友好都市協定調印式に立ち会う。

化と習慣を紹介し続けてきました。協定のおかげで一宮とトレビーズの柔道交流、中学生交流事業と、若い世代の交流に関わったことは有意義で心に残りました。小中学校での国際交流授業での子どもたちとの交流も思い出深く、もっと続けたいものでした。

一宮は静かで住みやすい街です。大都会でも田舎でもない特徴のない街とよく言われますが、決してそんなことはありません。人であふれる楽しい七夕まつりもありますよ。たくさん友人ができた一宮は、日本で一番好きな街です。できればこのまま一宮に住み続けたいと思っています。そして国際交流協会のボランティアとして、国際交流の発展のためにお手伝いしたいものです。





## Biglie : ビーリエ



横一列に並んだビー玉に向かって、大きいビー玉を2m程向こうから弾いて、玉に当たると右側のビー玉全部がもらえる。でもなかなか当たらないし、そこまで届かないよ。

まず屋内で講師の自己紹介や、イタリアの歴史と一通りのゲームの説明がありました。



給水タイムで、ひと休み。

日本語ひろばのゲスト、ジョナスさんが当日飛び入り参加してくれました。

# 昔のあそびで イタリアを知ろう!

一宮地域文化広場 7.11

世界の子どもはどんな遊びをするのだろうか？今回は国際交流員のヴァレンティーナさんが講師を務め、イタリアの昔の遊びを実際の物を使って、子どもたちと遊ぶ講座を開催しました。

蒸し暑い日でしたが、給水タイムを取りながら大人も子どもも、懐かしい遊びに引き込まれていました。



講師ヴァレンティーナさんは、今回の講座が国際交流員としての最後の仕事になりました。



## Elastico : エラスティコ

## Cerchio : チェルキョ



日本でもおなじみの、ゴム跳び。女の子が大好きな遊びで、ゴムを足首、膝、腰、とだんだん上に高さを変えます。二人で仲良く跳んでも楽しいね。



自転車の車輪を、棒でころがす。コツをつかむと簡単です。

## Le belle statue : レ・ベッレ・スタトゥイーネ

最後に、一人が後ろを向いて10数える間に、他の人が面白いポーズをするゲームを、皆で楽しみました。



他にもいろいろなゲームを教えてくださいました。ヴァレンティーナさんありがとうございました。

(みかん)

世界をあそぼう!

イオンモール木曽川 9.5～6

Friendship Festival 2015

# フレンドシップフェスティバル

～見て、聞いて、体験して、世界を楽しむ2days!～

9月5日と6日の2日間、イオンモール木曽川のイベントスペースで「フレンドシップフェスティバル」が初開催されました。

世界各国のパフォーマンスが楽しめるスペシャルステージや、1コインで世界を体験できるワークショップ、民族衣装の試着体験、友好都市トレビーズを紹介するブースなど、盛りだくさんの内容でした。



1日目の出し物の目玉はAMA AFRICA (アマ アフリカ)。アフリカントークとアフリカン音楽のステージで、愛・地球博でアフリカの文化・音楽に触れ、フレンドシップ事業として活動中のあま市の団体が招かれました。

アフリカの情熱的なジェンベのリズムに合わせて、見物の人たちも体をゆすって楽しんでいましたよ。

また1coinワークショップではアフリカンオリジナルブローチづくり、タイ古式ハンドマッサージ、ボディペイント、ポンポンアニマルづくり、インテリアモビールづくりなどのコーナーが開設されました。どのコーナーも子どもたちで大にぎわいでした。

その他、世界の民族衣装を着てミスセタ・ミス織物やいちみんと記念撮影しよう!などのイベントも行われました。(橋本)







イベント2日目も、前日と同じ会場で1 coinワークショップに子ども連れの家族が大勢つめかけ、和らいたムードでいっぱいです。



一方、カラフルなステージに目をやると、ディビッドさん率いるウクレレとフラダンスとのバンド演奏が始まっています。ハワイアン独特のあのゆったりとした音楽が会場をハワイに変えました。



これら魅力的なパフォーマンスの合間に、2日目だけのお楽しみ、ムーミン谷の住人と会場に遊びに来てくれた子どもたちとの記念撮影大会が始まります。情報を聞きつけ、たくさんの家族連れがいつの間にか長い行列を作っています。子どもをはさんで少し恥ずかしそうに指でピースをするお父さんが印象的でした。



ステージでは開発途上国への国際協力を行っているJICAの青年海外協力隊として、実際に海外での活動をされてきた方々の経験談話が始まりました。その中には、私たち国際交流協会のOGの方も含まれており、さらに国際交流協会の日本語ひろばのメンバーがギター演奏を披露するという場面もありました。



その後いよいよこのイベント最後を飾る、オ・ペイシ・キ・ヒというサンバグループのパフォーマンスが始まりました。サンバ特有のとてもカラフルな衣装を身にまとった大勢のダンサー達が、南米の熱い踊りで艶やかに最後の幕を締めくくってくれました。(you都市)

# 愛知万博10周年記念

## 一市町村一国フレンドシップフェスタ



愛・地球博記念公園 モリコロパーク 9.27

ひさしぶりに無人運転のリニアモーターカー「リニモ」に乗って、愛・地球博記念公園で開催中の「愛知万博10周年記念 一市町村一国フレンドシップフェスタ」に行ってきました。

このイベントは9月26、27日の2日間行われましたが、27日の日曜日はステージの上では中国江蘇省演藝集団の歌や踊りの公演や、民族衣装のファッションショー、南米の音楽など国際色豊かなパフォーマンスが繰り広げられました。

そして観客席を取り囲むように、一宮市をはじめ各市町村やNPOのブース、世界&ご当地グルメフードコートが並び、色とりどりの民族衣装の販売も行われており、“フレンドシップフェスタ”の名にふさわしい会場でした。これらのブースでは各市町村の姉妹（友好）都市の紹介、展示であったり、遊びであったり、物作りであったり…。中にはホルンを吹かせてもらえるブースもありました。



一宮市のブースはステージに一番近いところにあり、27日には『イタリアの昔のあそび』と題し「タッピ」と「ビーリエ」という昔からイタリアのお友だちがやっている“あそび”2つが用意され、新しい一宮市の国際交流員マッシモさんが参加してくれた子どもさんたちに一生けん命やり方を教え、楽しそうに一緒に遊んでいました。これらの“あそび”は2～4人でやるとおもしろいの

ですが、1人で遊びに来てくれる子もいます。そんな時はスタッフも一緒に仲間になって楽しく遊びました。最初は大人のほうが勝つのですが、必ずしも大人ばかりが強いとは限りません。お互いはじめてやる“あそび”ですから…。そのうち要領を得た子は勝ってばかり。たぶんルールを悪用しているのかも…。でも“あそび”のルールなんか都合のいいように勝手に変えてもいいと思う。それに昔から“大きいお兄ちゃんはひきょうなんだから”。そんな“あそび”のなかで子どもたちは社会のルールを学び、たくましく成長していくものではないかと思いました。



イタリアだけでなく昔から日本にもあった子どもの“あそび”は素朴で、道具はタッピが王冠（ビンのふた）とダンボール紙、ビーリエはビー玉と単純。ルールはフレキシブルに変えられ（ローカルルール）、身近にあるもので手軽にあそぶ。そうした中で創意工夫、社会のルールといったものを身につけていった、そんなことを思い起こさせる一宮市のブースでした。（雲谷 齊）





# おとなりさん



カイ・ラビンちゃん

今回は、日本語ひろばジュニアにとっても熱心に通う、フィリピン出身の女の子です。

現在小学6年生のカイ・ラビンちゃんは、1年早く小学校に入学して

フィリピンで小学3年生まで学習し、2012年に来日しました。日本で1学年重複して学習することになりましたが、当初日本語を書くことも話すことも全くできず、フィリピンでは「しゃべりすぎ!」とクラスの子に言われるほどでしたが、日本では静かに過ごすしかありませんでした。

近所の友だちと触れ合ったり、妹のアユミちゃんと日本語ひろばジュニアに積極的に通ううちに、少しずつわかるようになり、日本語を英語と同じくらい使えるようになりました。今では毎日図書

館に行き、日本語の本を読んでいます。「マジックツリーハウス」みたいなファンタジー小説が大好きです。

今がんばっているのはミニバスケ部。この間ユニフォームをもらうことができました。絵を描くのも得意で、学校でスケッチしたものに家で彩色したり、写真に撮ったものをお絵かきソフトで作画したりして楽しんでいます。

今年3月に同い年のいとこニ科尔ちゃんが来日し、一緒に暮らし始めました。友だちに話したいことを通訳してあげるのではなく、日本語を教えてあげ、ニ科尔ちゃん自身に伝えてもらうことで橋渡しの役もしているそうです。

(伏原)



## iiia イベント information

詳細はウェブサイト

<http://www.iiia-138.jp/>

またはFacebookページ

<https://www.facebook.com/iiia138>

をご覧ください。

お問い合わせ・お申し込みは

一宮市国際交流協会 (iiia) まで

T E L : 0586-85-7076

F A X : 0586-73-9213

メール : [iiia-138@iiia-138.jp](mailto:iiia-138@iiia-138.jp)

### イタリア野菜を咲かせよう

専門農家を招き、友好都市トレビーズの特産野菜をはじめとする、さまざまなイタリア野菜を紹介します。

#### ①一宮とイタリア野菜のマリアージュ

日時：1月14日(木)

会場：ガーランズ(大和町馬引)

#### ②イタリア野菜を身近に感じる料理教室

日時：1月15日(金)

会場：開明公民館 料理実習室



### 親子国際理解セミナー

親子でJICAなごや地球ひろばを見学し、途上国の生活や文化、習慣などについて学びます。

日時：1月16日(土)

会場：JICAなごや地球ひろば ほか

(一宮市内からバスで移動)

### 国際交流ソフトバレーボール大会

地域に住む外国人の方々やフレンドシップ国出身の方々と一緒に、初心者でも気軽にできるソフトバレーボールを通じて交流しましょう!

日時：1月24日(日)

会場：一宮市総合体育館

# 地球あっちこっち

## セネガルで得た宝物

一宮市立富士小学校教諭 田島 由加里 たじま ゆかり

貧しい、不衛生、年中暑い、何を食べてる？わらの家か?!…アフリカといえば、こんなイメージがみなさんにもありませんか？私は2013年7月～2015年3月まで西アフリカのセネガル共和国で、青年海外協力隊として活動していました。私の主な活動内容は小学校での音楽・図工・体育などの情操教育の普及で、現地の先生と一緒に子どもたちへ授業をしたり、先生方へのセミナーを開いたり、保護者へのイベントを企画したりしました。

セネガルに赴任した当初は、言葉や文化の違いにつまずくことばかりで、自己紹介とあいさつに加え、「～はどこ？」「～がほしい」というフレーズとジェスチャーのみでコミュニケーションをとっており、ちやうしやう嘲笑されることもありました。活動を進めていても、授業中、間違えてしまった子をみんなが笑うということはしょっちゅうあります。「一生懸命やっている人をなぜ笑うの？」日本で教員をしていた私にとって、衝撃的な授業光景が毎日繰り返されていました。しかし、セネガル人の心は屈強で、そんなことではめげたりしないのです。むしろ笑われた悔しさを何度もバネにして挑戦していきます。だからこそ、彼らの授業には日本とは一味違う活気があり、子どもたちが

できたときの笑顔はとてつもなくキラキラ輝いています。喜ぶときにはみんなが全力で喜び、踊りだす。明るく、陽気で、だれとでもすぐ友達



子どもたちにセネガル国歌を指導

になり、おしゃべりを楽しむ、屈強な心をもったセネガル人に時には悩まされ、時には助けられながら、充実した時間を過ごすことができました。



学習発表会、大成功!!

私が力を入れていた活動の一つに、「セネガル国歌の演奏」があります。セネガルでの音楽の授業といえば、先生が歌う歌を真似して覚えて歌うこと、歌に合わせて踊ることだけ。音源装置もないので伴奏もなし。日本のように鑑賞や合奏などの学習はありません。そこで、セネガル人の大好きな国歌を、歌うだけではなく自分たちで演奏してみてもどうかと現地の先生に提案しました。富士小学校の卒業生から鍵盤ハーモニカの寄付をしていただき、これをきっかけに学校交流を行いました。セネガルの子どもたちにとっては初めて見る楽器。最初の吹きで出た音を聞いた時の子どもたちの目の輝きは、今でも忘れられません。保護者呼んで開催した学習発表会での国歌の演奏は、たくさんの拍手と称賛の声をもらうことができ、現地の先生も子どもたちも「頑張った分だけ成果が得られる」という自信を持つことができました。また、見に来ていた保護者も、自分の子どもの姿をみて誇らしげな様子でした。セネガルは中学校までが義務教育化されたものの、親の教育への関心度は低く、ただ学校に行かせているだけで、子どもたちが何を学んでいるのか知っている親はほとんどいません。この学習発表会を通して、少しでも関心を持ってくれるようになったらうれしいです。

子どものがんばりをみて喜ぶ親の姿は世界共通。親にほめられて喜ぶ子どもの姿も世界共通。冒頭で述べたアフリカのイメージはすべてくつがえされ、セネガルからたくさんの宝物を持って帰って帰ることができました。自分が見て、感じてきたアフリカの風を、より多くの人に伝えていけたらと思います。

### 編集後記

和歌山県串本町を訪ねました。125年前、トルコの軍艦エルトゥールル号が座礁した地です。自分たちの倍もあるかと思う身体、彫りの深い髭を生やした鬼のように見える男たちを、自分たちのすべてを与えて助けた村人たち。その後もたくさんの命を救う平和のかけはしになっている話は、トルコでは小学校の教科書に載っているそうです。その地に立ち、海を眺め、当時の話を聞きながら、人はそうやって繋がって生きていくんだと改めて感じました。かけはし71号もそんな一歩となりますように… (ハッティ)

発行 一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市生涯学習課内)

ご意見・ご感想お待ちしております 【TEL: 0586-85-7076 E-mail: iia-138@iia-138.jp】

当協会に関する情報はウェブサイト・Facebookページもご覧ください

【WEB: <http://www.iia-138.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/iia138/>】

\*この「かけはし」は、協会ボランティアにより取材・編集されています。

みなさんも国際交流協会親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。